

多摩大学アジアダイナミズム濟州島研修視察 2019・2023

An Activity Report of the Educational Visit to Cheju Island
in Tama University Asia Dynamism Program 2019・2023

趙 佑鎮	Woojin CHO ¹
金 美德	Mitoku KIM ²
高 昌弘	Changhong KO ³
水盛 涼一	Ryohichi MIZUMORI ⁴
野坂 美穂	Miho NOSAKA ⁵
小林 英夫	Hideo KOBAYASHI ⁶
井上 忍武	Shinobu Inoue ⁷
大場 翔平	Shohei Oba ⁸
黒瀬 洋	Yo KUROSE ⁹
諸石 安美	Yasumi Moroishi ¹⁰
中庭 光彦	Mitsuhiko Nakaniwa ¹¹
新西 誠人	Masato Shinnishi ¹²
巴 特 尔	Baatar ¹³

1. 研修の目的

現代の産業界が最高学府である大学に望むものは、時代の課題をビジネスの現場で解決できる問題解決力をもった人材の育成と、アジア・ユーラシアダイナミズムというパラダイム転換の時代を創造する志や、「地政学的知」を身に付けた人材の育成である。また、多摩大学の基本理念の一つに「国際性」がある。これら大学に課せられた使命から多摩大アジアダイナミズム韓国濟州島研修として隣国である韓国において、世界の約 78 カ国 7000 人が集った「第 14 回濟州平和フォーラム 2019」(5 月 29 日(水)～5 月 31 日(金))及び約 65 カ国 4200 人が集った「第 18 回濟州平和フォーラム 2023」(5 月 31 日(水)～6 月 2 日(金))に参加した。参加学生は、東アジアの平和と繁栄を促進するための各国トップによる基調講演、ディスカッションなど、多国間対話と世界のビジネス最前線を肌で感じ、国際関係とビジネス ICT への深い洞察を、アジアの協力と発展についての知見を深めることができる。4 年ぶり 8 回目の今年は、2019 年に引き

-
- 1 多摩大学経営情報学部 School of Management and Information Sciences, Tama University
 2 多摩大学経営情報学部 School of Management and Information Sciences, Tama University
 3 多摩大学経営情報学部 School of Management and Information Sciences, Tama University
 4 多摩大学経営情報学部 School of Management and Information Sciences, Tama University
 5 多摩大学経営情報学部 School of Management and Information Sciences, Tama University
 6 多摩大学経営情報学部 School of Management and Information Sciences, Tama University
 7 多摩大学目黒高校 Meguro High School, Tama University
 8 多摩大学附属聖ヶ丘高校 Hijirigaoka High School, Tama University
 9 多摩大学学生課 School of Management and Information Sciences, Student Affairs Division
 10 多摩大学国際交流センター事務課 School of Management and Information Sciences, International Affairs Division
 11 多摩大学経営情報学部 School of Management and Information Sciences, Tama University
 12 多摩大学経営情報学部 School of Management and Information Sciences, Tama University
 13 多摩大学経営情報学部 School of Management and Information Sciences, Tama University

続き済州平和研究院訪問視察、済州漢拏大学との学生交流会を開催した。また、高大連携の一環として多摩大学目黒高等学校及び聖ヶ丘高等学校の生徒と、多摩地域のアクティブシニアを支援するジェロントロジー企画の一環として社会人が参加した。本研修は参加および課題を提出することにより Study Abroad 科目として単位認定される。

2. 研修先

- ① 済州国際会議場 International Convention Center Jeju (ICC JEJU)
<http://www.iccjeju.co.kr/>

3. 宿泊先

- ① ベストウェスタンプレミアホテル国都(全員:2019年度1日目)
<http://www.hotelkukdo.com/>
- ② ブヨンホテルアンドリゾート済州 (Jeju Booyoung Hotel & Resort)(2019年度・2023年度一部教員2・3日目)
<http://www.booyoungjejuhotel.com/>
- ③ ホテル ザ ボーン (Hotel The Born) (学生:2019年度2・3日目)
<http://www.mstayjeju.co.kr/>
- ④ 済州漢拏(ハンラ)大学ホテル(全員:2019年度4日目、2023年度1日目)
- ⑤ YOU-US ホテル(学生及び教職員:2023年度2-4日目)

4. 参加者 (内は女子)

① 2019年度

経営情報学部学生 41名 1年次 36(12)名・2年次生 3(0)名・3年次生 2(0)名
多摩大学附属聖ヶ丘中学・高等学校生徒 6名 (高校2年6名(2))
多摩大学目黒中学・高等学校生徒 3名 (高校1年3名(1))
※日本経営者訪問団 60名 ※多摩大学シルバーデモクラシー企画参加5名

② 2023年度

経営情報学部学生 16名 1年次 3(1)名・2年次生 7(2)名・3年次生 2(0)名・4年生 4(0)年生
多摩大学附属聖ヶ丘中学・高等学校生徒 10名 (高校2年10名(4))
多摩大学目黒中学・高等学校生徒 19名 (高校1年7名(5)・2年生12名(9))
※日本経営者訪問団 33名 ※多摩大学シルバーデモクラシー企画参加1名

5. 研修詳細日程

① 2019年度

<経営情報学部オリエンテーション① 4月24日(水)12:20~12:55>

プログラム概要説明

<経営情報学部オリエンテーション② 5月8日(水)12:20~12:55>

韓国近現代史、済州 4.3 事件 事前学習(趙教授)、倫理経営(趙教授)
事前・事後課題について(趙教授)

<経営情報学部オリエンテーション③ 5月14日(火)12:20~12:55>

長寿企業の哲学精神と経営など (趙教授)、海外旅行保険について説明

<経営情報学部オリエンテーション④ 5月23日(木)12:30~12:55>

済州漢拏(ハンラ)大学学生交流会について (趙教授)

オリエンテーション欠席者課題について (趙教授)

集合場所など最終スケジュール・注意事項確認

<第1日目 5月28日(火)>

07:10 羽田空港国際便ターミナルに集合(大韓航空 JTB カウンター前)・搭乗手続き
 09:15～11:40 参加者と教職員が KE712 便にてソウル金浦空港へ
 12:30 多摩大学研修団JTB手配専用バス2台・ソウル市内視察(国立中央博物館・ロッテ免税店)
 16:30 ベストウエスタンプレミアホテル国都(クットー)チェックイン
 17:00～18:30 ホテル会議場 講演『アジア時代における日韓関係』朴領植博士
 19:30～ ホテル・レストラン 夕食会

<第2日目 5月29日(水)>

08:00 ホテルチェックアウト後、専用バス2台搭乗出発、バス内軽食
 09:00 専用バス金浦空港着、搭乗手続き
 10:05～11:15 KE1213 便にて済州空港へ
 12:00～ 多摩大専用バス2台で出発(人間開発研究院スタッフ同乗)
 中文観光団地 多摩大生宿舎 THE BORN HOTEL 荷物預け入れ
 済州国際会議場へバス移動
 12:50 済州国際会議場(ICC)レストラン昼食(ID・資料受取)
 13:30～15:00 『東北アジア地域の平和と繁栄のための韓国と日本の役割』国立外交院主管
 15:20～16:50 ※以下のいずれかのセッションに参加
 『平和都市連帯:都市間平和ランドマークネットワーク構築』済州特別自治道・済州平和研究院主管
 『地域住民と観光客全てのための地域観光活性化1』済州特別自治道・済州観光公社主管
 『ヒーリング(癒し)、済州観光の未来をみる』済州国際自由都市開発センター主管
 『3.1独立運動の現代的継承と国際秩序』東北亜歴史財団主管
 『東アジア地域平和のための日中韓の架橋役割-日中韓3国協力20周年記念』
 日中韓3国協力事務局主管(英語同時通訳のみ)
 17:10～18:40 ※以下のいずれかのセッションに参加するか、済州平和国際センター視察
 『環太平洋平和公園都市協議体コンファレンス』済州特別自治道主管
 『地域住民と観光客全てのための地域観光活性化2』済州特別自治道・済州観光公社主管
 『済州国際平和センター視察』
 19:00～20:10 夕食(近郊レストラン)
 20:30～21:30 鳩山由紀夫元総理挨拶、記念写真、日本訪問団懇親会
 21:40 中文観光団地 多摩大生宿舎 THE BORN HOTEL チェックイン・解散

<第3日目 5月30日(木)>

07:00 朝食buffet(ホテルB1階レストランにて)
 08:20 集合・バス移動
 08:40～09:00 済州国際会議場にて全体ミーティング
 09:00～10:00 [全体セッション I] 『米中関係の未来を問う:トウキディデスの罫とアジアの運命』
 ムン・ジョンイン韓国大統領府外交特別顧問、グレイアム・アリソン米国元国防省次官補・ハーバード大学教授、リ・ジャオシン元中国外交部長(外務大臣)、ジャック・マーチン英国ケンブリッジ大学専任研究員
 10:20～11:00 [開会式]
 11:00～12:30 [世界リーダーセッション] “アジアの回復弾力的平和に向けて:協力と統合”(90')
 パン・キムン前国連事務総長、鳩山由紀夫元日本国総理、ブライアン・マルルーニー元カナダ総理、ハインツ・フィッシャー元オーストリア大統領、マルコム・ターンブル元オーストラリア総理、ホン・ソックヒョン前中央日報会長・中央ホールディングス会長
 12:30 昼食(buffet)

- 13:30～15:00 ※以下のいずれかのセッションに参加
『北朝鮮政権力学の理解』東アジア財団主管
『民族主義と回復弾力的な日本・中国・韓国関係』国立外交院主管
- 15:20～16:50 [日本セッション I]
『企業の社会的価値と経済的価値追求の両立の知恵』人間開発研究院・東京都倫理法人会主管
藤岡俊雄経営実践研究会理事長
イ・スンユル東北亜共同体研究財団理事長・韓国キリスト教実業人会長、
司会: ムン・ヨンリン人間開発研究院名誉会長・元韓国文部大臣
- 17:05～18:40 [日本セッション II・日韓交流記念公演]
『持続可能経営のための企業ガバナンスとイノベーション ～キッコーマン社の事例を中心に』
100年経営研究機構・多摩大学主管
高梨一郎100年経営研究機構理事、チョウ・テクォンKwangjuYo会長
司会: 趙佑鎮多摩大学教授
- 19:00～20:00 夕食(近郊レストラン)
- 20:10～21:20 日本訪問団親睦交流会(行徳哲男団員挨拶・団長及び学生挨拶・名刺交換・懇親談話)
- 21:40 ホテル到着・解散

<第4日目 5月31日(金)>

- 07:00 朝食ブュッフェ(ホテル B1 階レストランにて)・チェックアウト
- 08:50 集合・バス移動
- 09:00～09:20 済州漢拏大学生と済州国際会議場で合流(ロビー)・写真撮影
- 09:30～11:00 『国際金融機構と北朝鮮経済: 対北民間資本誘致』世界経済フォーラム(ダボス会議) 主管
- 11:10～12:10 [全体セッション III] 『回復弾力的都市作り: 協力とリーダーシップの役割』
ヘレン・クラーク元ニュージーランド総理
- 12:20～13:10 [日韓大学生国際平和交流セッション] 『幸福の意味と力量』
ムン・ヨンリン人間開発研究院名誉会長・元韓国文部大臣講演
- 13:10～ 写真撮影・バス移動(昼食)
- 15:00 済州漢拏大学到着、済州漢拏大学ホテルチェックイン
- 16:00～18:30 日韓大学生交流会 別紙参照
1部 公式行事(関係者挨拶、学生発表)(45分～1時間)、2部 学生親睦交流(1時間半程度)
- 18:30 ホテル・レストラン 夕食 解散

<第5日目 6月1日(土)>

- 07:30 朝食ブュッフェ(ホテルレストランにて)
- 09:00 集合・チェックアウト・バス移動
- 09:00～13:30 専用バス2台搭乗出発、視察観光、ショッピング
- 13:30～14:30 昼食・レストラン(サムギョプサル)
- 15:00 済州空港着、搭乗手続き開始
- 16:10～17:20 済州空港 KE1236 便発 金浦空港着(ソウル金浦経由便)
- 18:40 金浦空港 KE2711 便発
- 21:00 羽田空港着、解散

② 2023年度

<経営情報学部オリエンテーション① 5月11日(木)12:15～12:45>

研修プログラム概要説明(趙教授)

<経営情報学部オリエンテーション② 5月18日(木)12:15~12:45>

済州フォーラム登壇者情報(趙教授)、持ち物・空港までのアクセスについて説明(事務局)

<経営情報学部オリエンテーション③ 5月25日(木)12:15~12:45>

済州漢拏(ハンラ)大学学生交流会について(趙教授)

海外旅行保険・服装、集合場所など注意事項確認(事務局)

<第1日目 5月30日(火)>

7時30分	羽田空港第3ターミナル3階出発階(Jカウンター大韓航空)に集合、チェックイン
9時20分	羽田空港 KE2106 便発 → 11時45分 ソウル金浦空港着
16時30分	金浦空港 KE1165 便発 → 17時40分 済州空港着 → 専用バス2台で済州漢拏大学へ
19時30分	済州漢拏大学内ホテルレストラン 夕食会
20時00分~	組別に済州漢拏大学日本語学科の案内のもと学生10名程の各々が大学近隣Eマート、ロッテマートへのショッピング&ブラ街の案内と交流(コーヒーショップ等)

<第2日目 5月31日(水)>

9時30分	ホテルチェックアウト、大学ホール集合(金湖世界教育館 A棟 1階)へ移動
10時00分~12時30分	日韓学生交流会(済州漢拏大学総長挨拶、学生の文化発表(若者文化事情や歌・踊り等の文化パフォーマンス、記念写真)12時30分に専用バス2台で出発
12時50分~13時30分	韓食レストラン(ユッケビビンバ、冷麺、カルビクッパ専門店)で昼食
14時20分	YOU&US HOTEL 到着、チェックイン→済州国際会議場(ICC)バス移動
14時50分	済州国際会議場到着(ICC)到着 →受付登録 → ID名札・資料冊子等を受け取る
15時20分~16時40分	『済州4・3モデルの世界化-歴史の真実、和解、連帯』ムン・ジョンイン前大統領外交安保特別補佐官・アジア太平洋リーダーシップネットワーク副議長、アレクシス・ダズン コネチカット大学歴史学教授、ジン・リ ウッドローウィルソンセンター公共政策専任研究員、済州特別自治道主管(3階 HALLA HALL)(日本語同時通訳)
17時00分~18時10分	[日本(多摩大学・経営者)訪問団歓迎セッション] 歓迎の挨拶、『幸福はどこから来るのか』講演、日本訪問団挨拶 オ・ジョンナム人間開発研究院会長歓迎挨拶と講演(日本語)、人間開発研究院主管(3階デリジア)
18時40分~19時40分	とんブロック(済州産黒豚専門店)で夕食
20時00分~21時00分	日本訪問団懇親会、記念写真、経営者・学生挨拶、団員自己紹介・団長及び学生挨拶・名刺交換・懇親談話(3階 SAMDA HALL)

<第3日目 6月1日(木)>

8時30分	ホテルロビー集合、済州国際会議場へ徒歩移動
9時00分~10時20分	特別セッション『印度-太平洋時代:自由、平和、繁栄のための協力とビジョン』パク・チョルヒ国立外交院長、スコット・シュナイダー米国外交委員会、ラモン・パルドブルッセル自由大学教授、ポンパイス・ブスバラット タイ国際安保研究所長・チュラロンコン大学副学長(日本語同時通訳) 韓国外務省・済州平和研究院主管(3階 SAMDA HALL)
10時50分~12時00分	[開会式]オ・ヨンフン済州特別自治道知事挨拶、ホセ・ラモス・ホルタ 1996年ノーベル平和賞受賞者・東ティモール大統領、キム・ジンピョ韓国国会議長、バン・ギムン元国連事務総長、プアン・マハラニ インドネシア下院議長、マーティン・ロムアルデス フィリピン下院議長(日本語同時通訳)(5階 TANMNA HALL)
12時10分~13時20分	昼食

13時30分～14時50分	[100年経営研究機構 日中韓グローバル経営セッション] 『持続可能な世界のためのアジアの協力』 リシン・ゴ テンセントアジア代表、杉田定大 SMBC 日興証券特別顧問・100年経営研究機構顧問 人間開発研究院・多摩大学主管（日本語同時通訳）、記念写真(5階 TAMNA HALL)
15時00分～	済州国際平和センターに徒歩 10分移動して視察 ※済州国際平和センターは、世界平和島済州と平和に対する広報及び展示施設であり、アジア時代における朝鮮半島の歴史的背景、平和実践事業、ビジョン等を示している
17時00分～18時30分	多摩大訪問団への済州市長歓迎激励と対話・夕食会（日本語同時通訳）(3階 SORANG ROOM)

<第4日目 6月2日(金)>

9時00分～10時20分	[日韓経営哲学セッション] 『人間経営実践のための人間（中心）尊重のリーダーシップ』(80') 宮田博文 宮田運輸会長・元盛和塾大阪代表世話人、キム・ビョンイル 陶山書院文化修練院理事長 発表討論（日本語同時通訳）司会: 趙佑鎮(多摩大学教授)、オ・ジョンナム人間開発研究院会長閉辞、日韓団体記念写真(3階 HALLA HALL) 多摩大学・板橋・渋谷区倫理法人会主管
10時50分～12時10分	[グローバルセッション] 『持続可能な平和と繁栄のための地方外交の役割』BA Teer 中国海南省委常務委員、オ・ヨンフン済州特別自治道知事、タミー・キム米国アーバイン市副市長、ダン・ベネット駐韓ニュージーランド大使、済州平和研究院・済州特別自治道主管(日本語同時通訳) (3階 SAMDA HALL)
13時30分～14時50分	済州漢拏大学金星勲総長による「K 起業家精神と韓流」(日本語同時通訳) (3階 SAMDA HALL)
13時30分～17時00分	ボンテミュージアム訪問
17時30分～19時30分	世界的アウトドアブランドであり韓国の代表的グローバル企業であるブラックヤクがつくったリゾート施設「BLACKYAK 村」の視察（支配人の説明） BLACKYAK 創業者カン・テソン会長の多摩大訪問団への歓迎挨拶と対話 BLACKYAK 村内のレストランドウドで夕食(焼肉)

<第5日目 6月3日(土)>

9時00分～13時00分	ホテルチェックアウト後、専用バス2台で出発、 カメラヒル(東洋最大の椿の樹木園、アルテミュージアム(没入型メディア展示館)
14時00分	済州空港着、搭乗手続き
15時50分	済州空港 KE1254 便発 → 17時00分 金浦空港着(ソウル金浦経由便)
18時40分	金浦空港 KE2105 便発
21時00分	羽田空港着、解散

6. 済州フォーラムと研修の特徴

① 2019年度

多摩大生の毎年参加として7回目である2019年度の済州フォーラムと研修の特徴は下記の通りである。

- ・フォーラム貴賓として招かれた鳩山由紀夫元首相は、日本訪問団懇親会に参加し、多摩大生のための挨拶を行い、日本の歴史認識とアジア平和の重要性を強調し、多摩大の時代認識であるアジアダイナミズムについて共感を示し、学生を激励した。

- ・教職員の相互協力とこれまでの経験値によって、学生の事前学習及びセッション学習の誘導や引率、トラブル処理において円滑に行われた。また、7回目の多摩大企画の日本セッションも参加人員の量と議論内容の質において、去年同様に済州フォーラムに経済経営セッションで十分な貢献をしたと評価された。

- ・学生のフォーラムに臨む姿勢態度も毎年確実に向上している。学生参加者 40 人のうち、1 年生が 35 人を占め、グローバル化に対する新入生の関心と意欲の高さが示されたものであり、今後もこの傾向が続くものと期待する。
- ・済州フォーラム初日に済州島知事から、毎年参加している多摩大生への敬意を示す激励のコメントがあった。今年度は米中間問題を扱うセッションが注目された。
- ・高大連携の一環として多摩大学目黒高校生徒 3 人と聖ヶ丘高校生徒 5 人は、多摩大教員の事前学習も受け、研修期間中に大学生と交わりながら、セッション参観も集中力を持ちながら十分にこなした。日本訪問団懇親会でも多くの経営者を前にして堂々と意見を述べていた。
- ・ジェロントロジー企画として学長室長引率の元、フォーラム参加した地域のシルバー 5 人も無事日程を終え、内容の充実さを満足していただいた。
- ・多摩大生のための、ソウルでの朴領植博士の日韓関係をテーマとした講義においては、学生からの反応は大変高く、食事会の際にも朴博士に対して多くの質問が学生から活発に行われた。
- ・済州漢拏大学の交流会は、盛大な歓迎ぶりで、済州漢拏大学学生もフレンドリーに多摩大生に接してもらい、そのため、韓国人と国際交流へのイメージと抵抗感も変化したという感想が去年同様多く聞かれた。交流会では、本学派遣の済州漢拏大学への長期交換留学生在が韓国語で発表を行い、短い期間での語学の上達ぶりと適応力の高さに周囲が驚き、参加学生の数名が今後の長期留学を真剣に検討するきっかけになった。

② 2023 年度

コロナ禍のため中断されて 4 年ぶり 8 回目の参加研修の特徴は下記の通りである。

- ・4 年ぶりの催行ということもあり、高大連携の一環として多摩大学目黒高等学校から 19 名、多摩大学附属聖ヶ丘高等学校 10 名とこれまで以上の参加があった。多摩大学教員の事前学習も受け、研修期間中は大学生と共に、セッションに対して、集中力を維持しながら十分にこなした。日本訪問団懇親会でも多くの経営者を前にして堂々と意見を述べていた。
- ・多摩大学からはコロナ前と比較するともっとも少ない 16 名の派遣となったが、附属系列校の生徒と一緒に食事を取ったり、多摩大学訪問団としての強い連帯感を短期間で築くことができた。
- ・セッション間の誘導や観光施設への引率、乗り継ぎ便の変更、体調不良等のトラブル処理を円滑に行った。また、8 回目の多摩大企画の日本セッションも、コロナ前と同様に済州フォーラムの経済経営セッションで十分な貢献をしたと評価された。
- ・コロナ下に多摩大学から 4 名の交換留学生を派遣したこともあり、済州漢拏大学の歓待は温かく盛大だった。済州漢拏大学学生は人懐っこく、積極的に日本語で会話しようとする姿勢は多摩大生にも大きな影響を与えた。2019 年に本学から済州漢拏大学へ交換留学生として派遣した卒業生が、現在、ソウルの弘益大学大学院修士課程でマーケティングを学んでおり、流ちょうな韓国語で発表を行った。また、研修期間中は通訳ガイドとしての役割も果たした。
- ・済州フォーラム 3 日目に研修開催地である済州市の市長から、多摩大生への講演と敬意を示す激励の挨拶があった。「済州 4・3 事件」への関心が高く、日本における戦争体験者の減少に引き寄せた質問などが寄せられた。大学生、高校生からの質問に対して、済州市長から真摯な回答を得ることが出来、実り多い交流会となった。
- ・ジェロントロジー企画として学長室長引率の元、フォーラム参加した地域のシルバー 1 人も無事日程を終え、内容の充実さを満足していただいた。
- ・済州漢拏大学金星勲総長による「K 起業家精神と韓流」においては、質疑応答で学生から多くの質問が寄せられた。
- ・海外渡航未経験の大学生、高校生が多く、初めての海外渡航に対して引率付きの海外研修の重要性が伺えた。

7. 単位取得のための学生への課題

① 2019 年度

< 事前課題 >

以下のキーワード・概念・出来事を、インターネット等で調べ、A4 4 枚以上に自分なりにまとめて読み返し、第 4 回オリエンテーションにて提出。

- ① 歴史和解は可能か
- ② 鳩山由紀夫(友紀夫) 元総理
- ③ パン・キムン 前国連事務総長
- ④ 日韓関係(例えば現在の問題等)

- ⑤ 韓流 ⑥ 平和博物館 ⑦ トウキディデスの罠 ⑧ 米中問題(対立)
 ⑨ 幸福論 ⑩ 北朝鮮の核問題 ⑪ 民族主義(の問題) ⑫ 長寿企業

<セッション時間中のペーパー提出: 引率担当教授の指示に従ってメモ作成>

<事後課題>

- 内容: ① 今回の研修で得たこと ② 研修で得たことを今後どのように生かすか。
 ③ 韓国のイメージが研修参加前と参加後ではどのように変わったか。
 の3点を含む感想文 (ワードで1200字程度、A4一枚にまとめてください)

② 2023年度

<事前課題>

- ・「多摩大学アジアダイナミズム済州島研修視察 2018」「多摩大学と済州平和フォーラム 2020」を読み、応募理由を記載したうえで、研修申込みを受け付けた。
- ・済州漢拏大学生との交流に向けて、聞きたいことをまとめておくよう指示をした。

<セッション中>

- ・「専用ノート」に引率担当教授の指示に従ってメモを作成するよう指示を行った。

<事後課題>

- ・感想文の提出(以下3点を含む、ワード形式で1,200字程度、A4一枚)
 内容: ① 今回の研修で得たこと
 ② 研修で得たことを今後どのように生かすか。
 ③ 韓国のイメージが研修参加前と参加後ではどのように変わったか。
- ・写真5枚程度の提出
- ・済州平和フォーラム研修アンケート

8. 研修終了後提出の学生感想文・アンケートからの一部抜粋

① 2019年度

3年生

解決するには自分の国の歴史だけを見て自国が正しいと思うのではなく、相手国の歴史も確認し、お互いの国の歴史を尊重していかなければならない。これは文化に対しても言えることで、自国以外の文化を認めないという意図があると新たな争いが起きてしまう可能性があるということをフォーラムで学びとても強く印象に残った。

参加前は韓国に対して反日国などの悪いイメージしかなく、一度も行ったことのない国に勝手なイメージをつけるのはおかしいと思い今回参加した。結果として韓国は楽しく、韓国の方も親切な人ばかりで反日国という悪いイメージから誰もが親切で活気あふれる隣国という良いイメージに変わった。早く日韓関係が修繕することを願う。

2年生

国際平和の為に鳩山由紀夫元総理や、いろんな総理や大統領などが集まっていて、全員が国際平和を心から望んでいる事を凄く感じました。済州フォーラムに参加していて私自身話の内容がとても難しくまだ自分には早いなどは思いましたが、こういう雰囲気味わえただけでもとても感じました。この価値と海外に行く事の重要性をもっと多くの多摩大生に気づいて欲しいと思いました。来年の済州フォーラムではあの空間をもっと充実させたいと思いました。

2年生

この済州島研修に参加したのは2回目である。済州ハンラ大学の学生交流会で今回は私だけで2018年のヒット曲【USA】を披露した。あまり練習出来なかったせいか思うように踊れなかったが、韓国人学生のテンションの上がり方が半端なくて、周りを盛り上げてくれたからとても良かった。

1年生

初めての海外であったこともあり、とても楽しみであり同時に不安もありました。しかし、不安は現地につくと同時に消えており研修期間は気持ち的にも「楽しみたい」という気持ちが勝り、その気持ちにこたえられるよう全力で楽しみ、学ぼうと行動できました。

1年生

私は済州フォーラムで様々なセッションを聞く前では全くと言っても過言ではないほど政治に関する興味を持っていなかった。今回の研修を通して協力しあうことの大切さを学んだ。今もなお日韓関係のことが問題視されている中で私たち国民一人一人が政治的関心を持ち、理解しあうことが改善への大きな一歩となり、そして日韓関係の改善が実現すれば世界の平和にもつながることが分かった。今後はニュースをしっかりと見る習慣をつけ、世の中の情勢に常に注目したい。

1年生

印象に残ったセッションがいくつかあり、一つ目は、企業は何のためにあるのか？という内容でそのセッションの講師は社会問題を解決するためであると主張していました。さらに成長とは？幸福とは？という誰もが持つ疑問の答えを企業が出すと主張していました。

1年生

私が今回の済州島研修で得たことは、どんなことでも多くの知識を手に入れる事の大切さです。どんな分野でもどんな話題でも、一方に偏った知識や偏見を持ったままでは、有意義な会話や話し合いはできないということです。今回のフォーラムでは韓国の方はもちろんのこと、世界から著名な方々が来られていました。その中で、その方々の意見や見解を聞くと、日本のニュースではなかなか耳にしないうような話が出ていました。あ、なるほど、今までこうやって考えていたけど、このようにも考えられるのか、新しい考えだ、と気が付かされるものがとても多かったです。そうすると、今までとはその事柄に対するイメージが変わってきました。やはり、日本優位の意見が流れることが多いものと思いました。また、米中関係などあまり知らなかった話も聞くことができ、これからは積極的にニュースや報道番組などを見ていこうと思いました。

1年生

“無知であることを恥じず、無知に甘えることを恥じる。”という言葉聞いて、この研修に参加することを決めました。実際、フォーラムで日韓関係のことが議題にあがった時、一方的に日本側を責めるわけではなく、解決にはどのようにしていく必要があるかをしっかりと話し合っているのが、とても印象に残りました。私は、この研修で何にも代えることのできない経験を得ました。特に、パク・ヨンシク博士がおっしゃっていた「北朝鮮の核問題と日本の拉致問題はツートラックで考えなければならない。唯一核で攻撃された日本だからこそ伝えられることがあり、それはどの国よりも説得力がある。」という言葉には、とても感銘を受けました。私は、今回で得た経験を活かして、世界情勢を積極的に学び、グローバルに活躍できるような人物になりたいと思いました。

1年生

韓国は今までは日本との国交も悪く、あまり良いイメージを抱けなかったが、今回の研修、および事前学習によってそのイメージは払しょくされた。日本でのK-POPの流行や韓国人の日本に対するイメージなど、良好な状態にある方が多くあり、実際に韓国で現地の方々と会話をすると、驚くほど親切に接してくれた。事前に調べてはいたが、韓国の『情の文化』がここまで当たり前存在するものだとは思っていなかった。

1年生

最終日の済州漢拏大学では現地の韓国学生と交流して、大学周辺のカフェに学生のみで行き、皆で写真をとってラインやインスタなどを交換して、仲良くなれて自分で先生や相手方の先生にお願いしてイベントをできてよかったと思います。

1年生

今回の研修へ参加して、世界に興味を持つようになり、新たな世界に踏み出すとても良い体験ができました。これまで、国際関係の出来事や、海外留学等は英語が出来ない自分には関係ないという考えでいましたが、この研修を機会に外国語を学びたい、理解出来るようになりたいと思うようになりました。とにかく苦手でこれまでずっと避けてきた分野ですが、知識と経験を積みたいと思うようになりました。人々の考えや思いに国籍は関係ないと感じました。互いに認め合うことのできる優しい世界になってほしいです。

1年生

今回チェジュ研修に参加して、はっきり言ってスケジュール的にもハードで、朝から、夜遅くまで拘束されて、体力的にもきつかった。一人ならとても乗り越えられなかったと思う。そんな研修で仲間が存在が何より心強く、励みになった。終わってみて、この研修がとても楽しく有意義だったと思えたのも、今回のメンバーとの絆が出来たお陰だと思ふ。今回の研修で得た平和、仲間との絆を生かし、自分も少しでも平和に貢献できる人間になるためにこれから学んで行こうと思った。

1年生

今回の研修で一番私が得られてよかったと思うのは、視野の広がり、私が考えていたことがとても狭い視野で考えていて、その考えが薄かったということに気づけたということです。

1年生

私が今回の研修で得たことは、韓国人との繋がりです。私は今まで韓国人は気が強い人が多いイメージで最初交流するのが少し怖かったのですが、全くそんなことなくフレンドリーに接してきてくれて本当に嬉しかったです。私はずっと韓国の文化が好きだったので、韓国人の友達ができということが、私の中でとても大きな体験になりました。セティングされた交流会だけでなく四日目の夕ご飯のあとにハンラ大学の生徒たちとカフェに行きそこで多くの韓国人の友だちができました。また、交流の場だけではなく、見知らぬ韓国人ともコミュニケーションをとるのも勉強になりました。

② 2023年度

4年生

最初は韓国に行きたい！文化的なものを学びたい！という意思で行った今回のチェジュフォーラムでしたが、自分の知らないことにも耳を傾け、真剣に向き合うことができたとてもいい機会であったと感じます。他にも、韓国人の方とも仲良くなり素敵は国際交流ができました。日韓関係が良くなりつつある状況ですが、これからも良好であり続けるためにはやはり私たちの世代が良くし続けて行かなくてはなりません。その中でこのような交流があったことは貴重な時間であったと思います。

3年生

韓国は過去の歴史から日本を恨んでいてもおかしく無いのに盛大に歓迎してくれたり、お話をしてくれる日本の経営者達が学生参加の意義を示しながら、将来を切り開くのは学生と言っていただき、参加して良かったと思った。平和に向けて小さなことでも行動していかないといけないと思う。

2年生

今回の研修に参加して、今まで自分が韓国に対して持っていたイメージが大きく変わりました。実際に目で見て、自分の肌で体験することだけでしか得られない経験があることを身をもって学びました。

1年生

本研修で私は済州島の文化や平和の大切さについて深く学ぶことが出来ました。また初めての海外で学ぶことが沢山ありとてもいい経験が出来ました。



ソウルでの講演会『アジア時代における日韓関係』



講演する朴領植博士(2019年)



2019年セッションの様子



多摩大生と高校生を激励するウォン・ヒョン 済州道知事



日本訪問団懇親会・鳩山由紀夫元総理挨拶



鳩山由紀夫元総理と多摩大生の集合写真



2019年 世界リーダーセッションの様子



鳩山由紀夫元日本国総理講演



多摩大学主催の日本セッションの様子



高梨一郎 100年経営研究機構理事



日本訪問団親睦交流会(2019年)



交流会での多摩大学学部生代表挨拶



濟州漢拏大學ホテルでの食事風景(以降 2023 年)



歡迎の踊り(アリラン)



濟州漢拏大學 金星勲總長 挨拶



多摩大學 田村理事長 挨拶



多摩大學發表「日本の若者音楽」



多摩大學附屬聖ヶ丘高校 ダンス発表



多摩大学目黒高校 学園歌合唱



記念写真



『濟州4・3モデルの世界化—歴史の眞実、和解、連帯』



スピーカーに質問する大学生



日本訪問団懇親会歓迎での人間開発研究院会長



多摩大学と日本経営者との交流会: 田村理事長挨拶



多摩大学と日本経営者との交流(2023年)



印度一太平洋時代:自由、平和、繁栄のための協力とビジョン



2023年開会式 バン・ギムン前国連事務総長



100年経営研究機構 日中韓グローバル経営セッション



日中韓グローバル経営セッションで質問する大学生



日中韓グローバル経営セッション終了後の記念撮影



多摩大訪問団への済州市長歓迎激励と対話



記念写真



日韓経営哲学セッション



持続可能な平和と繁栄のための地方外交の役割



K 起業家精神と韓流



質問する高校生